

## 見えない親切の手袋

サラ川井葉子

三月十一日の大震災から三ヶ月。私達はどう過ごしてきたのでしょうか。無我夢中、そんな言葉が浮かびます。私は日立聖アンデレ教会の信徒で、同じ敷地内にある二葉幼稚園に勤務しています。あの時間、降園後の園庭には、まだ何組もの母子が遊んだりおしゃべりしたり、いつもの平和な時間が流れていました。そこへ今までに経験したことのない激しく長い揺れ、園庭に皆で集まり「神様お守りください。負けない力を与えてください」と祈りながら余震に耐えました。私たちが今からしなければならぬ事は？出来る事は？と考え動き出しました。一日も早く保育を再開したい思いに支えられていたのだと思います。たくさん励ましと支えをいただき、不自由さの中でも工夫して新年度の歩みを進めています。

四月半ば牧師館に京阪神ボ

ランティアセンターが開かれ、遠方から延べ一〇〇人を超える方々のお働きが続いています。福島方面だけでなく、私達の教会や園舎の補修、お菓子屋台、タコ焼き屋台、足湯にコンサート…多くの励みや喜びをいただきました。日曜日には共に礼拝し、私たちもボランティア活動に参加し輪が広がっています。この震災がなければお会いする事はなかったと思う方々と交わりの時を持ち、私達も動き始めている…。神様のご計画の不思議さを感じます。

「神様から頂いた力は使えば使うほど強くなる。園児たちはそう信じて、入園の時にもあった見えない親切の手袋をたくさん使っています。」

思いを超えた主の導きと、希望を持ってみんなが集まれば何か出来る！を実感し、感謝する毎日です。

(日立聖アンデレ教会)

## 第2回「信徒・教役者の集い」

昨年度の「教区合同部員会」が、今年度よりこれからの教区のあゆみを語り合うため、広く教区信徒と教役者が集い、語り合う会となりました。名称は「信徒・教役者の集い」となりました。

特に、本年はセント・ジョンズ・ハウス20周年ですので、志木聖母教会を会場として皆さんで記念の聖餐式を献げ、これからの教区のあゆみへの一歩としたいと願っています。どうか、皆さんでお誘い合わせてご参集下さい。

合同部長会・常置委員会

- 主 題** これからの教区のあゆみを語り合おう  
—志木聖母教会、セント・ジョンズ・ハウス20周年をともに感謝しつつ—
- 日 時** 9月18日(日) 16時集合 ~ 19日(月)(祝日) 15時解散
- 会 場** 志木聖母教会
- 宿 泊** 新座ディリーホテル  
〒352-0001 埼玉県新座市東北2-34-13  
電話048-471-0611
- 参加費** 5,000円(宿泊代、夕・朝・昼食)  
※原則、宿泊参加となります。日帰り参加の方はお申し出下さい。
- 申込先** 北関東教区教区事務所  
※申込書に必要事項を記入して送付下さい。メールでも結構です。
- 締 切** 9月5日(月)